

（1）授業展開例及びワークシート①

- 小題材名 商品の選択と購入について考えよう
- 目標 エシカルスーパーでの疑似体験を通して、商品を適切に選択、購入、活用することができる。
- 小題材名 「商品の選択と購入について考えよう（1時間）」で取り扱う内容

内容 C	・商品の選択と購入について考えよう
	・商品購入のための生活情報の収集や活用方法を考えよう
	・エシカル消費を理解しよう

内容 B との関連部分	・調理実習（魚料理）の献立から買い物をしてみよう
-------------	--------------------------

○学習指導過程

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 5分	1. 前時の学習を振り返る。	○前時に考えた魚料理の1食分の献立から材料を確認させる。	ワークシート
展開 I 10分	2. エシカル消費とは何かを理解する。 「はじめに」を見て、エシカル消費とは何かを学習する。	○Webを見た後、「エシカル消費」とは何かを説明する。 ○商品の製造から廃棄までの一生を通じて、時には問題が潜んでいることを説明する。	Web「はじめに」 ワークシート
展開 II 30分	3. エシカル消費の視点で、商品の選択・購入について考える。 スーパーでの買い物を疑似体験し、エシカルの視点を探しに行く。	○エシカルスーパーマーケットでエシカル消費の視点で買い物の疑似体験をさせる。 ○自分が作った献立に必要な材料を確認し、その商品について、エシカル消費の手がかりを見つけさせる。 ○各コーナーの解説やクイズから、社会的課題への解決のためにどのような取り組みが行われているか、調べさせる。	Web「エシカルスーパーマーケット」 Web「魚新聞」 Web「グリーン物流新聞」 Web「地産地消・GAP 新聞」 Web「食ロス新聞」
	4. 調べたことを発表し、ワークシートにまとめる。	○ワークシートに気づいたことをまとめ、グループ内で情報を共有させる。	ワークシート
まとめ 5分	5. 本時の学習を振り返る。 「おわりに」を見る。	○エシカル消費への理解を深める。	Web「おわりに」

年 組 名前

1. 魚料理の献立を確認しよう。

	料理名	材料（食品名）
主菜	サバのみそ煮	サバ、ねぎ、しょうが、みそ、みりん、しょうゆ
主食	ごはん	米
副菜	わかめときゅうりの酢の物	乾燥わかめ、きゅうり、しょうが、酢、塩、砂糖
汁物	かきたま汁	卵、生しいたけ、みつば、片栗粉、だし汁、しょうゆ、塩、みりん

2. エシカル消費について、わかったことをまとめましょう。

エシカルとは、（倫理）的、道徳的という意味で、地域の人々の活性化、雇用などを含めた（人）・（社会）・（環境）のことを考えた消費行動のことを（エシカル消費）という。具体的には（生産）、流通、消費、（廃棄）といった商品の一生の過程で、人権・社会・環境問題などが潜んでいることがあり、このような（社会的課題）に取り組んだり、社会的課題に取り組んだ商品を（購入）したりすることである。エシカル消費は商品を選ぶ際の一つの視点となる。

3. エシカル消費の視点で商品を調べ、わかったことをまとめましょう。

食品名	エシカルの視点	どの過程の課題に取り組んだか（○を付ける・複数可）	調べてわかったこと
サバ	MEL マーク	生産・流通・消費・廃棄	海の持続可能性に配慮して漁獲したことを第三者が認証した商品に付けられる。魚の持続可能性に配慮したマークは他にも、MSC マーク、ASC マークがある。
砂糖	エコルールマーク	生産・流通・消費・廃棄	商品を輸送する際、貨物鉄道を長距離利用した商品に付けられる。輸送手段に鉄道を積極的に利用すると、トラックなどに比べてCO ₂ 排出を削減するため、「環境に配慮して生産した商品」と考えられる。
きゅうり	地産地消	生産・流通・消費・廃棄	生産者が作った地域で消費者が消費すること。食べ物を運ぶ輸送エネルギーがかからないため、環境に配慮した消費行動である。
卵	食品ロス	生産・流通・消費・廃棄	賞味期限が近い商品を購入することで、販売店での食品ロスが減る。食品ロスの量は、年間で643万トンもあり、日本で生産されている米の年間生産量の約8割に当たる。

4. 調べたり、話し合ったりする活動を通して、気づいたことを書きましょう。

エシカル消費の視点で見ると、生産、流通、廃棄の過程で、いろいろな問題があることがわかった。

エシカルの商品を探す時、マークが目安になり、それ以外にも、地産地消など自分ができるエシカル消費もあった。

5. 今日の学習を振り返り、これからの生活に生かしたいことを書きましょう。

商品が自分たちに届くまでに、「誰がどこでどうやって作っているか」などと考えたことがなかった。

エシカル消費は買い物だけではないことがわかったので、今日からできることを始めたい。

(2) 授業展開例及びワークシート②

- 小題材名 「エシカル消費を考えよう」 よりよい消費生活を目指して
- 目標 環境に配慮した消費行動について考えると共に、国や地域、社会で行われている環境への取り組みについて関心を持ち、実践できる力を身につける。
- 小題材名 「よりよい消費生活を目指して (1 時間)」 で取り扱う内容

内容 C	・環境に配慮した消費生活を考えよう (グリーンコンシューマー等)
	・持続可能な社会に必要なライフスタイルを考えよう
	・エシカル消費を考えよう

○学習指導過程

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 5分	1. 前時の学習を振り返る。	○消費者の権利と責任について、身近な例を用いて確認する。「持続可能な社会」の構築に向け、行動を起こすことの重要性を確認する。	ワークシート (前時)
展開 I 15分	2. 環境に配慮した消費生活を考える。～エシカル消費～ 「はじめに」を見る。 省エネで守る環境について考える。	○グリーンコンシューマーの買い物 10 原則を用い、自分の消費行動を考える。グリーン購入、ごみの減量等の行動を確認する。 ○地球温暖化の主因の二酸化炭素や温室効果ガスについて説明する。省エネの取り組みの例として「グリーン物流新聞」を用いる。	ワークシート Web 「はじめに」 「グリーン物流新聞」(PDF) 「地産地消・GAP 新聞」(PDF)
展開 II 20分	3. 持続可能な社会に必要なライフスタイルを考えよう。 「マーク一覧」を見て、マークの意味を考える。 他者の意見や情報を共有する。	○循環型社会形成推進基本法に基づいた、3R,4R,5R を理解させる。 ○生活スタイルを考えさせる。～エシカル消費～ ○ワークシートに気づいたことをまとめ、発表し、他者の考えを聞くことで、お互いの情報を共有し、新たな発見に気づかせる。	ワークシート Web 「マーク一覧」 「リサイクル新聞」(PDF) 「森のめぐみ新聞」(PDF) 「食ロス新聞」(PDF)
まとめ 10分	4. 学習を振り返り、まとめる。 「おわりに」を見る。	○エシカル消費への理解を深め、実践につなげられるよう、自分にできる行動は何かを考えさせる。	Web 「おわりに」 ワークシート

年 組 名前

1. 私はグリーンコンシューマー？

～グリーンコンシューマーの買い物10原則で、自分ができているものに○をつけよう～

- ① 必要なものを必要な分だけ買う。 ()
- ② 長く使えるものを選ぶ。 ()
- ③ 容器や包装のないものを優先して買う。 ()
- ④ エネルギー消費の少ない物を選ぶ。(旬のもの) ()
- ⑤ 化学物質による環境汚染と健康への影響の少ない物を選ぶ。 ()
- ⑥ 自然と生物多様性を損なわない物を選ぶ。 ()
- ⑦ 近くで作られた物を選ぶ。(地産地消) ()
- ⑧ 作った人に公平な分配がされている物を選ぶ。 ()
- ⑨ 再生原料から作られた物を選ぶ。 ()
- ⑩ 環境対策に熱心な店やメーカーを選ぶ。 ()

2. 循環型社会の取り組み。～3R・4R・5R～ ①～⑤の意味を線で結ぼう。

- | | | |
|------------------|--|-------------------|
| ①リデュース (Reduce) | | 資源を回収し再生して利用する |
| ②リユース (Reuse) | | 修理しながら大切に使う |
| ③リサイクル (Recycle) | | ごみの発生を減らす |
| ④リフューズ (Refuse) | | 不要なものは購入しない |
| ⑤リペア (Repair) | | 使えるものは捨てないで繰り返し使う |

3. 持続可能な社会に必要なライフスタイルとは？～エシカル消費を考える～

次の世代に引き継げる社会を築くために、健康と環境に関心をもって生きる生活スタイルに変化させていく。そのために、自らの生活の仕方を選択するうえで、エシカル消費を一つの視点として選べるとよいと思った。

4. 発表したり、話し合ったりする活動を通して、気づいたことを書きましょう。

生産が環境破壊につながるから使うのをやめようとするのではなく、生産過程を調べたり、マークを参考にしたりして、自分で選ぶことが大事だということを知った。そのためにも確かな目で判断できるように、エシカル消費とは何かを理解し、できることから実践することが大切だと思う。

5. 消費生活の学習を振り返り、これからの生活に生かしたいことを書きましょう。

グリーンコンシューマーやエシカル消費という言葉も知らなかった。でも、今日の授業で地域の活性化や雇用も含めた人・社会・環境に配慮した消費行動ということを知ることができた。まず自分にできることとして、好き嫌いをなくし食品ロスを減らしたり、フェアトレードの商品を買ったりしたい。また、今まで勉強したことを家族にも伝えたいと思った。